

サイバー大学 Q&A

Q サイバー大学とはどのような大学ですか？

A サイバー大学は、ソフトバンクグループが運営する株式会社立の通信制大学です。

国立、私立などと同じように株式会社立の大学です。福岡市の構造改革特区を活用し、2006年度に文部科学省によって認可を受け設立されました。すべての授業をインターネットで配信するため、通学が一切不要で学士号を取得できます。いつでも自分の都合のよい時にインターネットにアクセスしeラーニング方式で受講できるほか、学生同士や教員との交流やサポートも、インターネット上で行う新しい大学です。

Q 既存の通信制大学や通信制コースを持つ大学との違いはなんですか？

A サイバー大学では、卒業単位すべてをインターネットで取得できます。つまり、スクーリングがありません。通信教育を行う大学では、いくつかの授業は通学して単位を取得しなければなりませんが、サイバー大学ではその必要がありません。

Q 既存の通信制大学との違いは他にありますか？

A 費用は既存の通信制の4年制大学より高くなりますが、既存の通信制大学の場合はスクーリング費用などは別途であり、場所によっては交通費や宿泊代などの費用がかかります。また、単位修得のための試験も指定された受験場所まで行かなくてはなりません。サイバー大学ではそのような費用が発生しません。既存の通信制大学は、基本的に文化系の学部が開校されています。理科系の学部は実験などの実習が発生するため、スクーリングがあっても消化しきれないのです。サイバー大学は情報と経営分野を学問領域とするIT総合学部が設置されテクノロジーが開校されています。テクノロジーコースはソフトウェアに関する専門分野で、通信制大学では数少ないコースが設置されています。日本理工情報専門学校のロボットシステム科(4年制)の併修ではテクノロジーコースを履修するようになっています。

Q サイバー大学の費用はいくらかかりますか

A 最も基本的なケースです。

専門学校4年制と併修した場合 4年間で 588000円
(専門学校の費用を加算した場合は 4年間で 2988000円)

Q サイバー大学と専門学校の併修は4年制だけですか？

A 併修には次のタイプがあります。

タイプ1 : 日本理工情報専門学校 ロボットシステム科4年制と併修

タイプ1では専門学校入学時に大学の正科生になります。(4年間大学と専門学校を併修)

タイプ2 : 日本理工情報専門学校 電子・情報工学科2年制と併修

タイプ3 : 日本理工情報専門学校 電子・情報工学科以外の2年制の学科と併修

タイプ2、タイプ3のような2年制の学科と併修する場合、次のケースがあります。

ケース1 専門学校在学中は専門学校入学時に大学の科目履修生になる

専門学校卒業後は専門学校3年次に編入し、同時にサイバー大学の正科生になる。

ケース2 専門学校在学中は専門学校入学時に大学に入学しない。(専門学校のみ入学)

専門学校卒業後は専門学校3年次に編入し、同時にサイバー大学の正科生になる。

ケース3 専門学校在学中は専門学校入学時に大学に入学しない。(専門学校のみ入学)

専門学校卒業後は就職などで専門学校に在籍しない。同時にサイバー大学の正科生になる

ケース3 専門学校在学中は専門学校入学時に大学の科目履修生になる

専門学校卒業後は就職などで専門学校に在籍しない。同時にサイバー大学の正科生になる

各タイプ及び各ケースにおける授業料と単位の認定と次のとおりです。

タイプ1 : サイバー大学の授業料 588000円 (4年間) 60単位一括認定

タイプ2 : ケース1 サイバー大学の授業料 680000円 (4年間) 70単位一括認

ケース2 サイバー大学の授業料 680000円 (4年間) 70単位一括認

ケース3 サイバー大学の授業料 680000円 (2年間) 70単位一括認

ケース4 サイバー大学の授業料 902000円 (4年間) 70単位一括認

タイプ3 : サイバー大学授業料はタイプ2と同じ 認定は 62単位一括認定

Q サイバー大学に入学するには、必ず専門学校との併修をしなければいけませんか

A 必ず併修という形を取らなければならないというわけではありません。

しかし、専門学校に通いながらサイバー大学を受講する場合は、学費の面、サポート面等から、併修という形をとるほうが有利です。併修におけるサポートや学費の減額は、専門学校との併修がなされている間有効です。

Q 専門学校ではどのようなサポートを受けることができますか？

A 主にサイバー大学で課されている課題の作成について、日本理工情報専門学校の常勤講師が指導などのサポートをおこないます。

Q 専門学校ではサイバー大学の授業のビデオ視聴や課題の作成をする時間は設けられていますか？

A 専門学校と併修をしている場合は、専門学校の時間割の中に、サイバー大学のビデオ視聴や課題作成を行う時間が設けられています。しかし、自宅でも自主的にコンスタントに自分でできることを進めていかなければなりません。

Q サイバー大学で学習科目はどんなものがありますか。

A 専門学校と併修をしている場合、4年間で履修する科目は既に決定されています。

以下の表（次ページ以降）に、それを示しています。

電子・情報工学科2年（科目履修生）＋編入学2年（正科生）履修モデル
テクノロジーコース（ソフトウェア）（62単位＋8単位の70単位認定時）

1年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
スタディスキル入門	1	ソフトウェア開発論Ⅰ	2
ITのための基礎知識	2	基礎英語Ⅱ	2
キャリア入門	1	日本語リテラシー	1
小計	4	小計	5
2年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
プロジェクトマネジメント入門	2	インターネット入門	2
アルゴリズム論	2	中級英語Ⅱ	2
中級英語Ⅰ	2	スタディスキル実践	1
小計	6	小計	5
3年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
情報セキュリティ入門	2	データベース論	2
UNIXサーバ構築Ⅰ	2	UNIXサーバ構築Ⅱ	2
インターネット技術Ⅰ	2	ソフトウェア開発論Ⅱ	2
サービステクノロジー論	2	ソフトウェア工学	2
小計	8	小計	8
4年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
ゼミナールA	2	ゼミナールB	2
ITプロジェクトマネジメント講義	2	ITプロジェクトマネジメント演習	2
セキュリティー技術Ⅰ	2	インターネット技術Ⅱ	2
業務アプリケーションの進化と開発	2	情報社会とテクノロジー	2
		セキュリティー技術Ⅱ	2
小計	8	小計	10
取得すべき単位 合計 54単位			

ロボティクス科4年制履修モデル（正科生×正科生 併修モデル）

テクノロジコース（ソフトウェア）（60単位認定時）

1年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
スタディスキル入門	1	ソフトウェア開発論Ⅰ	2
ITのための基礎知識	2	基礎英語Ⅱ	2
基礎英語Ⅰ	2	コンピュータ入門	2
キャリア入門	1	日本語リテラシー	1
小計	6	小計	7
2年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
プロジェクトマネジメント入門	2	インターネット入門	2
アルゴリズム論	2	中級英語Ⅱ	2
中級英語Ⅰ	2	スタディスキル実践	1
Web入門	2	アルゴリズム論演習	2
小計	8	小計	7
3年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
情報セキュリティ入門	2	データベース論	2
UNIXサーバ構築Ⅰ	2	UNIXサーバ構築Ⅱ	2
インターネット技術Ⅰ	2	ソフトウェア開発論Ⅱ	2
コンピュータのための基礎数学	2	ソフトウェア工学	2
小計	8	小計	8
4年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
ゼミナールA	2	ゼミナールB	2
ITプロジェクトマネジメント講義	2	ITプロジェクトマネジメント演習	2
セキュリティー技術Ⅰ	2	インターネット技術Ⅱ	2
業務アプリケーションの進化と開発	2	情報社会とテクノロジー	2
サービステクノロジー論	2	セキュリティー技術Ⅱ	2
小計	10	小計	10
取得すべき単位 合計 64単位			

電子・情報工学科2年（科目履修生なし）＋編入学2年（正科生）履修モデル
 テクノロジコース（ソフトウェア）（62単位＋8単位の70単位認定時）
 （この履修モデルは3年次からです。）

1年次/2年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
なし		なし	
3年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
ITのための基礎知識	2	ソフトウェア開発論Ⅱ	2
コンピュータのための基礎数学	2	ソフトウェア工学	2
UNIXサーバ構築Ⅰ	2	データベース論	2
キャリア入門	1	UNIXサーバ構築Ⅱ	2
日本語リテラシー	1	インターネット技術Ⅰ	2
スタディスキル入門	1	情報セキュリティ入門	2
ソフトウェア開発論Ⅰ	2	コンピュータ入門	2
基礎英語	2	基礎英語Ⅱ	2
インターネット入門	2		
小計	15	小計	16
4年次			
前期		後期	
科目名	単位	科目名	単位
セキュリティー技術Ⅰ	2	ゼミナールB	2
ITプロジェクトマネジメント講義	2	ゼミナールA	2
サービステクノロジー論	2	インターネット技術Ⅱ	2
アルゴリズム論演習	2	セキュリティー技術Ⅱ	2
スタディスキル実践	2	情報社会とテクノロジー	2
中級英語Ⅰ	2	業務アプリケーションの進化と開発	2
プロジェクトマネジメント入門	1	ITプロジェクトマネジメント演習	2
アルゴリズム論	2	中級英語Ⅱ	2
小計	15	小計	16
取得すべき単位 合計 62単位			
コンピュータのための基礎数学	2	コンピュータ入門	2
基礎英語	2	アルゴリズム論演習	2
合計8単位 電子情報工学科卒業の場合、下記科目は認定 電子情報工学科卒業でない場合は、認定にならないかもしくは一部認定			

Q サイバー大学と専門学校との併修のメリットは学費の面だけですか？

A 専門学校と併修する場合、単位の認定が受けられます。

サイバー大学の卒業要件は 124 単位取得です。このうち一般教養科目にあたる 60 単位が包括認定されます。従って、4 年で残り 64 単位を取得することになります。また、電子・情報工学科 2 年制と併修する場合、70 単位が認定されます。

Q サイバー大学ではどのように講義がすすめられますか？

A サイバー大学では次のような構成になっています。

サイバー大学では前期、後期制をとっています。履修科目によって 1 単位科目、2 単位科目があります。単位を取るためには、下のように 3 つの要素を終えなければなりません。

1 . ビデオコンテンツの視聴	2 . 課題の作成	3 . 期末試験
-----------------	-----------	----------

1 単位科目では、ビデオコンテンツの視聴+課題の作成 を 8 回
2 単位科目では、ビデオコンテンツの視聴+課題の作成 を 15 回 を 1 学期内に行います。
1 回分のビデオコンテンツの視聴+課題の作成で 1 回分の授業に出席したことになります。
これで出席が認定されます。

1 単位科目では、ビデオコンテンツの視聴+課題の作成 を 8 回
2 単位科目では、ビデオコンテンツの視聴+課題の作成 を 15 回 を終了すると
期末試験を受験する資格が発生します。(実質的には 2/3 を終了した時点で発生しますが 結果的にはすべて終えなければなりません。)

期末試験に合格すると単位が認定されます。

期末試験を何らかの理由で受験できない場合は、追試験を受験できます。 期末試験の結果が不合格の場合は、再試験を受験できます。再試験で合格しても D 評価になります。

再試験、追試験は無料です。しかし、学期内に受験、合格しないと、再履修となります。

学期内に (ビデオコンテンツの視聴+課題の作成指定)されたものを、指定された回数分履修し 試験に合格しなければ、その科目は再履修となります。

ビデオコンテンツは 1 回につき 15 分のコンテンツを 4 章分視聴しなければなりません。

課題の作成は、小テスト、レポート、ディベート(ネット上でのディスカッション) のいずれか 1 つが課されます。(例外の科目もあります。)